

## 2024 年度ゼミ（演習 1）要覧

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 担 当 者 名                  | BAE JUNSUB(ベ ジュンソブ)  |
| 演習テーマ                    | 社会問題と政策対応  |
| 演習の内容                    | <p>BAE ゼミは、社会政策（例えば、年金、医療保険、介護保険、保育政策など）及び福祉国家について集中的に学ぶゼミである。</p> <p>演習 1 は、公共政策学の枠組みを応用し、さまざまな社会問題について、その現状や解決策の特徴を理解することを目的とする。毎回、教科書の輪読及び、新聞社説の読み比べを行う。</p> <p>演習 2A・B では社会政策・福祉国家の文献を中心に輪読を行い、演習 3A・B では東アジア地域の社会政策・福祉国家の特徴に関する文献の輪読を行う。</p>  |
| テキスト・参考書                 | <p>秋吉貴雄（2017）『入門公共政策学：社会問題を解決する『新しい知』』中央公論新社。</p> <p>伊藤修一郎（2022）『政策リサーチ入門〔増補版〕：仮説検証による問題解決の技法』東京大学出版会。</p> <p>他にも随時紹介する。</p>   |
| 成績評価の基準                  | 授業への参加度 25%、プレゼンテーション 25%、期末レポート 50%   |
| 校 外 実 習                  | 実施する   |
| 校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額 | 「演習 2」の履修者を対象に韓国で実施予定。2025 年 9 月に 1 週間、個人負担額は 15 万円程度  |
| 選考方法                     | <p>①小論文（800 字程度）</p> <p>②ゼミ選択の理由（400 字程度）</p> <p>いずれも申込書と一緒に、申込受付期間内に提出（manaba のレポート機能）</p>  |
| 小論文（テーマ、書式・枚数、提出期限・方法）   | <p>テーマ：自分にとっての社会問題（なぜそれが社会問題であると思うのか、どこが問題だと思うのか、日本はどのような政策を実施しているのか、外国はどうか、昔はどうだったのかなど・・・）＜例えば、少子高齢化、ブラック企業、移民、教育、労働、交通、環境、エネルギー、福祉・・・＞</p> <p>＊小論文で確認したいことは、「どの分野に対してどのような観点から興味を持っているのか」であり、何か答えを求めているわけではないので自由に書いてもらいたい。</p> <p>書式・分量：Word 800 字程度</p> <p>提出期限：5 月 26 日（日）</p> <p>方法：申込書と一緒に、申込受付期間内に提出（manaba のレポート機能）</p> |
| メールアドレス                  | junsub@k.meijigakuin.ac.jp   |

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 説明会・オフィス<br>アワー          | 5月13日（月）13：00－13：30<br>5月15日（水）13：00－13：30<br>5月17日（金）13：00－13：30<br>5月20日（月）13：00－13：30<br>場所：個人研究室 8421<br>事前に参加希望日を担当教員にメールで連絡すること |
| 履修済・履修中であることが望ましい授業      | 「比較政策論」「社会政策論」の履修を強く勧める   |
| 2025年度に在外研究等で演習を開講しない可能性 | なし  |
| 備考                       | 本演習の履修に関心のある場合は、必ず「説明会」に参加すること。説明化に参加希望の場合は、必ず事前に参加希望日を担当教員にメールで連絡すること  |